## 2. 子どもたちの輝く声がきこえるまち うらやす

## (1)子どもと家庭の健康の保持・増進

事業番号	25	事業名	【重点】	日子保健推進員	<b>注</b> 活動			担当課	健康増進課	
母子保健推進員は、子育てしている家庭と行政のパイプ役となり、母子保健サービスの紹同じ地域に暮らす身近な存在として、子育ての相談に応じています。生後2~3か月頃に制度でい、心配事の多い家庭については保健師に連絡し、継続的な支援につなげたり、ほのタイムなど母子保健事業への協力なども行います。								家庭訪		
		母子保健推進員	数 平成	20年実績		35人	平成26年目	目標		35人
		訪問件数	平成	20年実績	1,	445件	平成26年目	1標		充実
平成23年	三度	を聞くことに に努める。 行っている。	こより、 柴嘱期間 定例会	母子保健サービス 子育てをしている 引は2年間。2~3 ☆は月に1回(8月 現在実績値	家庭と行政 か月児のい	(のパイプ) \る家庭^	プ役として への訪問活	、子育て 動や母子	に関する不安	の軽減
実施状況と	評価			步行天旗 區 進員32人 訪問件数	1,386件(記	訪問率91	.2%)			
		【評価】 2~3か月	見をも	っつる家庭を全戸訪 )提供や相談窓口の	i問すること	により、	児と保護			
平成24年 事業予定 今後の調	₹と	題である。長	子保保	見在32人で活動して 津推進員の役割につ いて再考していく。						

事業番号	26	事業名	ウェルカムベイ	ビークラス等産育	前学級の実施	包	担当課	健康増進課				
計画内	容	同時に、同じ どを伝えるこ	初産婦を対象に、妊娠・出産・育児に関する知識の普及や利用できるサービスの周知をすると同時に、同じように子育てをしていく親同士の友達づくり、夫婦で子育てをすることの大切さなどを伝えることを通し、子育て不安の軽減を図ります。 また、経産婦も参加できるような産婦人科・小児科医師による講座も行います。									
		ウェルカムベイビー クラス 実施回数	平成20年実績		12回	平成26年目	票	12回				
		妊婦健康講座 実施回数	平成20年実績		8回	平成26年目	票	8回				
平成23年 実施状況と		う ② 人③ 「す 初な※妊産科プ子野る ■ 一位表表婦婦医レ育菜こ 平 ①12回回 一位振り、講医義クスくよ 年回回回 「女はまりない。」 「女はない。」 「女はない。」 「女はない。」 「女はないない。」 「女はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	けづ月 は は は は は は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に	に対をの に対をの に対をの に対をの に対をの に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し	いる。 年1 主度3月受講者 専門の講義者 見直といまけた。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 コ実施。 経 者に実施。 経 を実施。 経 検を取知 けた に に た た た た た た た た た た た た た た た り て と た り た た り た た た り た た た た た た た た た た	3 回。 至	象としている。産婦 特に「鉄分」や、 をし、実際に調理を				
平成24年 事業予定 今後の調	₹E	できる場所・	人・仲間を提供		を図る。加え	えて、妊婦の	り栄養に	ットを生かし、相談 関する調査を実施し を図っていく。				

事業番号	27	事業名	新生児・妊産婦	<b>帯訪問指導の実施</b>			担当課	健康増進課		
計画内	容	出生連絡票に伴い、助産師等が家庭訪問をし、母親が心身共に健康な日常生活を送ることがで きるよう支援します。								
		訪問件数 (新生児・未熟 児・乳児含む)	1 //- 1 / - 1/2 (	1,	329件	平成26年目	標	継続		
平成23年 実施状況と	三度	の乳児)に く訪問連絡 選連なの。 況の確認を で記述のでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	対し助産師・訪問れ> 悪の提出または 悪の提出または い家庭についてい 行い、家庭訪問の 年3月末現在実績 児延133人、未熟 生連絡票の提出を	へつながるよう支援し	形が家庭語 → 電が家庭 話い ない ここの 62人	が問してい 問→必要に る母親の言 壬婦延26人 事業が定着	る。 応じて再 育児状況 <i>6</i> 、産婦延	訪問の実施、継続支の確認と、児の発育状1,249人		
平成24年 事業予定 今後の調	きと	安定した、 ハイリスク <sup>ラ</sup>	訪問の実施。 者への早期介入。							

事業番号	28	事業名	各種健診事業の	の実施			担当課	健康増進課
			建康診査、乳児- の健診を行いまっ		歳6か月児例	建康診査、	3歳児健	康診査、幼児歯科健
計画内	容	1歳6か月児 健診受診率	平成20年実績		97.1%	平成26年目	標	継続
		3歳児 健診受診率	平成20年実績		92.5%	平成26年目	標	継続
平成23年実施状況と		医療機の歯 平 1歳6 大機の歯 平 1歳子子児習 一 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	託にて実施。 議議にて実施。 議議にて実施。 議議にて実施。 議議にて実施。 議議には、 第3月末健 第3月末健 第4日 第4日 第4日 第4日 第4日 第4日 第4日 第4日	健康診査は集団 学児を対象に予紹 値 4人(95.5%)、3歳 を登り を変変を を変変を を変変を を変変を を変変を を変変を を変変を	で実施。 対施 実施。 関健診 1634/ 現した カ、と 原に 対に がいる。 発し、 がいる。 発し、 がいる。 発し、 がいる。 発し、 がいる。 発いで には がいる。 発いで には には には には には には には には には には	児にいる。 人(91.5%) よう、児健 はこう とうで とう けると	目に個別道 的は の安 を 変を で で 不 も に れ い な の 安 を る 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、	受診票を交付し、 通知している。 機関等への受診勧奨 の受診動型 の受診を早期に発見することがで を早期に発見することがで と歯子防の知識と技 とまれてくる児への
平成24年 事業予定 今後の語	₹2	ら虐待の早 連携し受診 ンターの協	朝発見や未然防」 勧奨を行う。また 力を得ながら、り	Lに努めていく。 た、養育面の未把	また、未受記 握について <i>に</i> 底していく。	诊者に対し は虐待も視 さらに発	ては電話 野に入れ 達障害者	疲れ等の問診項目か や訪問、保育園等と 、子ども家庭支援セ 支援法に基づく発達 ていく。

事業番号	29	事業名	訪問指導の実施		担当課	健康増進課	
育児不安、事業等の事後指導等支援を必要とする家庭への個別支援を実施します。 計画内容							
		延訪問指導件	数 平成20年実績	1, 139人 平成26年	目標	継続	
		事後指導等	要に応じて新生児・妊産婦・乳 支援を必要とする家庭への個別 毎等については、こども家庭3	別支援)			
平成23年 実施状況と		■平成24 <sup>4</sup> 述932	F3月末現在実績値 件				
		【評価】 各母子保(	建事業と連携した訪問指導を領	実施している。			
平成24年 事業予定 今後の調	<u> き</u> と		問指導を実施していく。 スに対応する訪問者の確保。				

事業番号	30	事業名	育児相談の実施	担当課	健康増進課					
計画内	容	乳幼児期の成長発達を確認し、疾病や異常の早期発見・子育てに関する不安や悩みの軽減のた めに実施します。								
		相談者数	平成20年実績 677人 平成26年	目標	継続					
平成23年 実施状況 &	-	① 育児相談年間23回 ②離乳食クラス年間12回 ③ほのぼのタイム年間77回 ① 市内在住の 0 歳から未就学児の親子を対象に、市内4か所の公民館と健康センターで測、保健師・助産師による発育・発達確 認、育児相談を行っている。また、健康センタ育児相談では栄養士による栄養相談、歯科衛生士による歯科相談を行っている。さらに、ロー者に対しては、育児相談での経過観察や保健師等による継続指導につなげている。(予度は震災のため1回中止) ② 生後 4 ~ 5 ヵ月の親子を対象に、身体計測、栄養士による離乳食の始め方の講話、資試食(保護者のみ)、グループワーク、保健師による発育・発達確認、個別相談を行っている。(下機選者のみ)、グループワーク、保健師による発育・発達確認、個別相談を行っている。市内在住の妊婦と生後6ヵ月までの親子を対象に、公民館等にて情報交換・保護者同流の場として提供している。(平成23年度は震災のため7回中止) ■平成24年3月末現在実績値育児相談延べ1,221人、離乳食クラス参加者759人、ほのぼのタイム(妊婦と子育で中未満の親の集い)参加者延べ1,682人 【評価】 ① 育児相談:保護者の思いに添いながら、発育や発達の遅れを早期に発見し、継続的7日につなげるかかわりを継続していく。その結果、育児不安が軽減され、安心してアップクラン設し離乳食に対しての母へのサポートを実施した。23年度はステップアップクラン設し離乳食に対しての母へのサポートを実施した。23年度はステップアップクラス特別編に開催し、離乳食中期・後期の進め方について理解を深めた。 ② 離乳食クラス:離乳食についての知識を深めるだけでなく保護者同士の交流、保健能								
平成24年	ξÈ	発達の確認には、 はまり、 はまり、 はまり、 はまり、 はずれい はい にん はい にん はい にん はい にん はい では はい はい でいる はい	、個別相談を行うことで母子へのサポートを行っていく 前のタイム:外出がしづらい乳児期の親子が、安心して している。ほのぼのタイム卒業者については6ヵ月以降 育て支援センター、保育園園庭開放、子育ですこやか成 後:育児相談で継続的にかかわり悩みを聞いていくこと く。公民館での育児相談は、出生数の変化に伴い場所を 成25年度の実施場所を検討していく。また、離乳食スラ やしていく。 プラス:前年度と同様に実施する。他事業(乳児健診)が	、。 地域の中/ も地域交交 で、場等)の で変更し、 で変プアッ	へ参加できる場とし 充のできる場(子育て 紹介をしていく。 関係を築き、養育不安 来所者の反応や人数 プクラス特別編の開					
今後の認	<b>果題</b>	<ul><li>③ ほのぼの 推進員の協力</li></ul>	いて検討していく必要がある。 )タイム:保護者が地域で安心して子育てしていくこと 力を強化していく。また、地域の子育て支援施設が充ま 法の検討が必要である。							

事業番号	31	事業名	健康教育の実施	担当課	健康増進課
計画内容	ž.	近な健康に	獲者の健康を維持・増進するために、子どもの生活リン 関する知識を講義や実践をとおして学ぶ機会をつくりる 平成20年実績 33回平成26年	ます。	活、歯の健康など身継続
平成23年原実施状況と記	变	育た歯年夕め1講健出 中健す) (実児と講講 平 中康こ、利施む実座座 成歯 健保をや中用。し習:: 健保をや・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	護者の不安を解消し、有意義な子育でにつながるように 維持増進する為に、知識を講和や実習を通して理解した。 が教室:保育園17園(公立7、公設民営5、私立民党 が教室:保育園17園(公立7、公設民営5、私立民党 学校8校(1年生)、こども発達センター(通園児と保護者)主に、歯垢の染めだし、歯みがきを嫌がるいまた。 大田の・バランスのよい食事、お弁当箱の活用についまた。 「中国・バランスのよい食事、お弁当箱の活用についまた。」 「中国・バランスのよい食事、お弁当箱の活用についまた。」 「中国・バランスのよい食事、お弁当箱の活用についまた。」 「中国・バランスのよい食事、お弁当箱の活用についまた。」 「中国・バランスのよい食事、は発力のでである。」 「中国・バランスのよい食事、は発力のでである。」 「中国・バランスのよい食事、お弁当箱の活用についまた。」 「中国・バランスのよい食事、お弁当箱の活用についまた。」 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・バランスのよい食事、 「中国・バランスのよい食事、は、 「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・	講で対象の	して支援する。ま 学校18校(2・5 障がい者福祉セン 園は保護者教育も含 歯予防のポイントの 調理実習
平成24年原 事業予定。 今後の課題	ک		職の向上を目指し、関係機関との連携を図って、日々等 ていきたい。また、市民の健康にプラスになるよう講覧 いきたい。		

## (2) 子どもの心と体の健康づくりの支援

事業番号 32	事業名	各種予防接種の実施	担当課	健康増進課
計画内容	性を周知し	記童・生徒を対象に、予防接種法で定められた予防接種を、受診勧奨をします。  ■者 平成20年実績 3,342人 平成26年		す。予防接種の必要維続
平成23年度 実施状況と評価	対内種な者※17成 ・・・ 期9期歳助 【 た予予防て 団成学加 費象容方か等平年7 予転麻 ■ポ1,人(以成子小 評予。防防接、麻接24旅さ対で浦疾でた予23か月 防入し 平り65を歳)21頸用 】接 種種は知んを3や公年払安病実場防年ら15 権者へ属 24,、む150件が肺 種 対で対文風実3学費齢っ	市に住民登録をしている乳幼児・児童・生徒の発生及びまん延を予防するため予防接種法で定められ施している。病気などの事情により予防接種で定められ合など、子育て世帯等の経済的負担の軽減を図ることを接種費用の一部を助成している。5月20日に予防接種法施行令及び実施規則の一部が改立21年度の間の積極的勧奨差し控えにより日本脳炎予防持生まれから平成19年4月1日生まれ)に、不足回数分の低対象者に個別通知を行い、広報・ホームページ・ポスへの個別通知を実施しん予防接種第1期~第4期未接種者への個別通知を実施しん予防接種第1期~第4期未接種者への個別通知を実施り、予3期1、499人(集団接種者数 787人を含む)、第4期)、麻しん3人、風しん16人、日本脳炎1期(3歳~7歳63歳未満)1、225人、日本脳炎特例(7歳6か月~13歳未満4人、二種混合1、449人	ていた E 接予 タ 施 風95か勘 3 ち よ妾虱 成こ持ん 爰 たた目 と種防 一 しり9月3、、の 周勧し 1り5人 ・	種を集種を集種を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を
平成24年度 事業予定と 今後の課題	予防接種対 予防接種で 第3期では扱 平成24年度 り、	施行令、実施規則等に基づき、予防接種の接種勧奨を1象者に個別通知、広報・ホームページ・ポスター等に。は未接種者に対しても受け忘れのないように個別通知し種率の向上を図るため、中学校での集団接種を行う。は不活化ポリオワクチンが導入される予定があるため、整備を図る。	よる周知の レ、麻疹発	ほか、麻しん風しん 症防止に努める。

事業番号	33	事業名	フッ化物塗	<b>趁布事業</b>			担当課	健康増進課
計画内	容	性を周知し	、受診勧奨	. – , 3				
		る。 1歳6か月児 院にて、1回 ■平成24	化物を塗布 性康診査は 1500円の 年3月末現石	することによりむし歯 こて希望者に対して無料 の自己負担にて2回まっ	を予防し、歯 斗で1回塗布 で塗布として	新科保健指 。 2 歳児 実施。	は浦安市i	
平成23年 実施状況 と		【評価】 市民への により、最い 1歳6か月児 そのポイント でのポた、加を つる 2歳児へ	問知は転入 近1回は転入 登建 を を を を を を で で で で で で で で き で で き で で う で で う で う	者も含め個別通知して を布が受けられるようでのフッ素塗布は健診の 間を要してしまうため ついてのパンフレット 果から、1歳児むし歯	おり、洩れた 記慮している の最後になる 、歯科保健指 を配布してい 予防ビーバー であるため、	なくできて。 ため、母	いる。ま 子とも疲れ を補うた 切児歯科健	にていることが多い。 めに、仕上げみがき 診 (対象2歳以上)
平成24年 事業予定 今後の記	ĔΈ	フッ素の効	果や協力歯	た事業も10年が経過し 科医院での2回塗布者 検討していく。		問題点等理	別状を把握	し、より良い事業の

事業番号	34	事業名	思春期講座の実施		担当課	健康増進課			
計画内	/AN	思春期講座を実施し、子どもたち自身が自己を肯定し、命を大切にしながら成長できることを 支援します。また、保護者に対しては子どもの健康をとりまく状況などについて情報提供及び知 識の普及を行います。							
		受講者	平成20年実績	79人 平成26年日	1標	継続			
平成23年 実施状況と	:度	いて理解を注 で理解を注 で理解を注 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	をもつ親、思春期を迎える子をも 深め、思春期へ関わりを考えても 2月20日(月) もの自主性を育てる~子どもの考 式場 敬子氏 施。 手3月末現在実績値 施(参加者49名) 込みが多数あったことから現状が という現のというののというのというののというのというののというのというのはが というのこどもへのというのというのというのというのというのというのというのというのといいのというのという	よとする。 きえる力を育てるための は思春期のこどもとの関 で関わりが重要になって	)コミュニ 切り お に 期 に な る。 今	ケーションとは〜」 ついて悩みや不安を になって初めてぶつ 回の内容のような講			
平成24年 事業予定 今後の調	<u> </u>	市民ニーズの	の把握をしながら、多方面からア 20		二、講師・	講義内容を検討して			

事業番号	35	事業名	生命や健康、性	生教育についての知識の普及	を推進	担当課	保健体育安全課				
		生命、健康、	生命、健康、性などについて、子どもが正確な知識を学べる環境づくりを推進します。								
計画内	容	保健学習の充 (市立全小・中	実 平成20年実績	実施	平成26年目	目標	充実				
		保健だより・ 校保健委員会 情報提供 (市立全小・「	等 平成20年実績	実施	平成26年目	目標	充実				
		等を実施し	ている。小学校	こおいて、生命や健康、性教育 12校 中学校2校 画に基づき、保健学習を実施し							
平成23年	三度		年3月末現在実績 や健康、性につい	• •	学校12校	中学校 2	校				
実施状況と	評価	【評価】 ・各学校において、年間計画に基づき保健学習を実施している他、学校保健員会等を利用し、学校保健委員会会員や保護者にも啓発を行っている。 ・給食センターの栄養士等を利用し、家庭科や、学級活動などの教科で食に関する学習に取り組んでいる学校もみられる。 ・学校においては、毎年同じ講師に依頼して、保健学習として実施することにより、定着することが可能となっている。									
平成24年 事業予定 今後の調	きと	浦安市学ることから	交保健会研修会( も、今後も学識》	とともに学校保健委員会の中で の内容が、各学校の学校保健委 経験者や専門家を招き、生命や への情報提供の機会を充実させ	委員会につ や健康、性	ながって	いるケースが多くあ				

(3) 安心できる小児医療体制の整備												
事業番号	36	事業名	事業名 子ども医療費助成の充実 担当課 こども家庭課									
計画内	中学3年生までの子どもが病気やケガで病院、診療所などで社会保険や国民健康保険により診療を受けたとき、保護者が負担した額(保険診療相当額)を申請により助成します。(小学生以上は通院1回200円、入院1日200円の自己負担あり)また、就学前の乳幼児が県内の病院等で医療を受ける際に、その窓口で保険証と一緒に提示すると医療費が概ね無料になる受給券を申請により発行します。  延人数 平成20年実績 91,027人 平成26年目標  150,000人											
		延人数 件数	平成20年実績 平成20年実績		1件 平成26年目		150,000人300,000件					
	世級											
事業予定	平成24年度 事業予定と 今後の課題 平成25年4月より、柔道整復師の施術に係る療養費(整骨院等)も受給券使用対象となる。 12月より、千葉県の医療費制度改正に伴い、受給券対象者を中学3年生まで拡大予定。 受給券対象拡大で市民の利便性は高くなる。今後は、適切な受診という概念を周知、啓発することが大切になってくる。											
事業番号	37	事業名	急病診療所			担当課	健康増進課					
計画内	容	夜間や休日年ます。	等に急病になった人の初期	治療・応急手当	もの為の診療 (	(内科・小	児科・外科)を行い					

## 6, 124人 平成26年目標 受診者数 平成20年実績 継続 対象:浦安市民(市外の住民も含む) 内容:夜間や休日等に急病に対応するための診療所であり、急病診療所で対応できない検査や入 院が必要な場合は、待機病院の紹介も行っている。 日曜・祝日の昼間(ゴールデンウィーク・年末年始を除く)に小児科専門医を配置し、小児初期救急診療 を行っている。(毎日 午後8時から11時 および日、祝日 午前10時から午後5時診療科は、内 科·小児科) また、市民が急病やけがの際に、医療機関の案内や専門職による健康相談を365日24時間「電話急 病・医療相談」を実施している。 平成23年度 ■平成24年3月末現在実績値 実施状況と評価 5,175人(小児の受診者数 1,833人) ・ 広報・ポスター・子育てガイドブック等で急病診療所の案内を周知している。ホームページ では、かかりつけ医の推進も含めた市内の救急医療体制について掲載し、周知を図っている。平 成19年度より浦安市救急医療等対策検討委員会を設置し、市内の救急医療体制の連携や救急医療 のさまざまな課題について検討している。 子どもの急病時の対応、医療機関のかかり方等について、保護者の方の参考となるように、 リーフレットや浦安市電話急病・医療相談の案内カードを生後2か月児に個別通知する。

平成24年度 事業予定と 今後の課題 平成24年度においても急病診療所での一次市内の救急医療体制実施し、併せて日曜・祝日の昼間 は小児救急医療体制のために、小児初期救急診療を実施する。

順天堂大学医学部附属浦安病院においては、小児外科の診療を開始している。 東京ベイ浦安市川医療センターにおいては、平成24年5月から小児救急全般を24時間体制で 毎日受け入れする

事業番号	38	事業名	休日救急歯科診療所		担当課	健康増進課
計画内容		休日等に急病になった人に対する応急処置を行います。				
		受診者数	平成20年実績 291人 平成26年目標 継続			
平成23年度 実施状況と評価		対象:浦安市民(市外の住民も含む) 内容:休日等に急病に対応するための歯科診療所(日曜日・祝日・年末年始) 午前9時から正午 ■平成24年3月末現在実績値 290人(小児の受診者数 31人)				
		【評価】 広報・ポスター・子育てハンドブック等で歯科診療所の案内を周知してきており、本診療所の 存在が浸透してきた。				
事業予定	平成24年度 事業予定と 今後の課題 平成24年度においても、休日救急歯科診療所を開設し、市民のための応急処置の 実施する。				急処置の診療所として	